

平成 25 年度 人文・文化学群 シンポジウム

グローバル・ヒストリーとしての「長期の 19 世紀」

ーグローバル化のなかの東アジア世界と日本の歴史的基盤ー

【ゲスト・スピーカー】

ハーバード大学

東アジア言語文化学部

Department of East Asian Languages
and Civilizations

マーク・エリオット 教授

(Mark Elliott)

デビッド・ハウエル 教授

(David Howell)

広島大学 大学院 文学研究科

河西 英通 教授

(Kawanishi Hidemichi)

【プログラム】

1/11 (土) 10:30 ~ 16:00

報告 1 マーク・エリオット

「19 世紀の清代中国に帝国を発見する」

報告 2 吉村 雅美 日本学術振興会特別研究員 (PD)

「近世日本対外関係史研究と『境界』」

報告 3 河西 英通

「暴力・軍事力の〈分散〉と〈集中〉のなかの
『長期の 19 世紀』」

1/12 (日) 10:00 ~ 16:00

報告 4 デビッド・ハウエル

「『グローバル・ヒストリー』のなかの近世日本」

報告 5 武井 基晃 筑波大学

「琉球王府『通事』の異国への対応」

報告 6 山下 須美礼 筑波大学

「ハリストスー北からのキリスト教文化とその受容」

グローバル・ヒストリーを地域と地域のつながりという概念によって理解すること、ローカル・ヒストリーを基礎としたグローバル・ヒストリーについて、今日の世界の基礎を形成した「長期の 19 世紀」を本シンポジウムのメインテーマに取り上げ、グローバル・ヒストリーへの関心が最も高いアメリカの歴史研究の現状と展望、そしてそれを踏まえた歴史教育のあり方を、ハーバード大学など内外の研究者を招聘して学ぶ。加えて、筑波大学におけるグローバルな視点を踏まえた研究の現状を、本学出身の若手の研究者などの報告により提示する。


【日時】

2014 年 1 月 11 日 (土)

1 月 12 日 (日)

【会場】

**筑波大学 大学会館
国際会議場**

 つくばセンター 6 番バス乗り場から
「大学中央行き」または
「循環右回り」で「大学会館前」下車

連絡先：人文・文化学群長室 029-853-4000

筑波大学 人文・文化学群